

放射線科だより



令和6年4月19日
診療放射線科 徳田 一泰

【骨折と骨挫傷】

• 骨折と骨挫傷の違いとは？

骨折と骨挫傷はよく混同される言葉ですが、決定的な違いがあります。違いはその名の通り、**骨が折れているかどうか**です。

• 骨折は、文字通り骨が折れている状態を指します。骨が完全に断裂している場合や、いわゆるヒビの入った状態も骨折に含まれます。

• 骨挫傷は、骨に過度な衝撃が加わって起こる怪我です。骨折には至っていないものの骨内部に微細な損傷がある状態を指します。例えばスポーツ中に相手選手と激しく接触した際や、転倒してぶつけてしまった際に骨挫傷が起こることがあります。

• 骨折はレントゲンやCTで診断できますが、骨挫傷は**レントゲンやCTでは写りません！**診断には**MRI**が不可欠になります。

• 骨折と骨挫傷を膝の写真で比べてみよう

Case ①

レントゲン画像



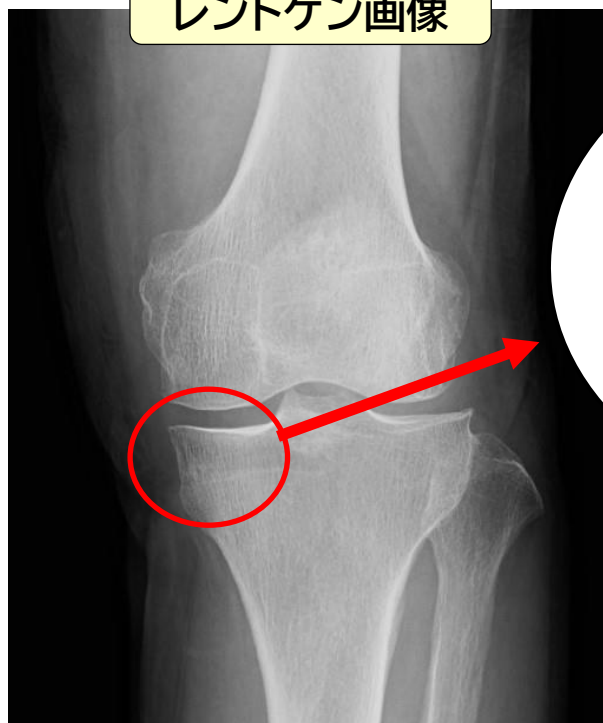
レントゲン写真で骨皮質の非連続性を認める

⇒**骨折**と診断された。



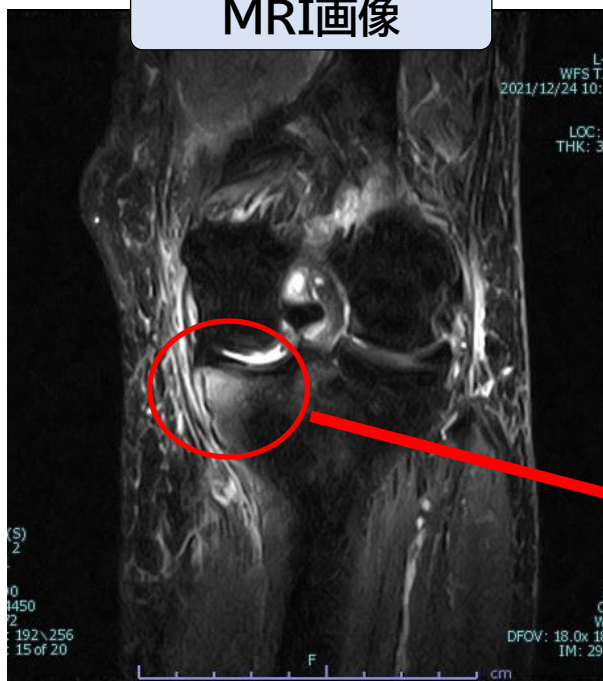
Case ②

レントゲン画像



レントゲン写真では骨折
ははっきりせず…
患者さんも結構痛そうだし
MRIを撮像してみよう！

MRI画像



膝の内側に異常な信号が描
出され、
骨挫傷と診断された。



骨折の治療には、時に手術療法が選択されますが、骨挫傷の治療は
まず第一に安静にすることです。

怪我をしてレントゲンで異常が見つからないのに、長期間骨がズキ
ズキ痛む時は骨挫傷の可能性がありますので、お近くの整形外科の先
生にご相談されてもよいかと思えます。

検査に関する疑問、質問などございましたら

お気軽に検査担当技師までお問い合わせください。